

「三匹獅子舞などの民俗芸能は文化的遺産。次代に確かに残していかねばなりません。」

子松神社
宮司・村上幸一さん

子松神社宮司として、
榊宣である長男・敏教さんとともに
神社の伝統・歴史を後世に伝える。



私は、子松神社の宮司として神社を守り、さまざま自然の恵みに感謝し、人としての喜びや奉仕の心を大切にしていきたいと考えています。子松神社には、町指定民俗無形文化財に指定されている「子松三匹獅子」が伝えられています。毎年10月に行な

われる三匹獅子舞では、神輿の先導として8歳から11歳の男の子が舞いを奉じます。文化的遺産である民俗芸能は次の世代へとしっかりと伝えていかなければならないと思います。子松神社は比較的良いのですが、他の民俗芸能では参加者が少なくなるなどの問題を抱え、伝承が難しくなっているところもあります。先祖が心の拠り所として守ってきた神仏を尊ぶ心を今に伝え、それを子供や孫に伝えていくことが、私たちの大切な使命だと考えています。

葉の紙
常から手

